

感じるチカラで もっといいこと。

 **長谷川香料株式会社**

プレスリリース
報道関係者各位

2025年10月8日
長谷川香料株式会社

**酸性リン脂質を用いたリポソームは敏感肌向けに最適な効果
リポソーム技術のブレイクスルー**

長谷川香料株式会社（本社：東京都中央区 代表取締役社長：長谷川研治）（以下、長谷川香料）は、本年9月15日から18日にかけて開催されたIFSCC Congress 2025カンヌ大会にて酸性リン脂質を用いたリポソームが、従来の中性リン脂質を用いたリポソームに比べ、肌のバリア機能を有意に活性化することを発見、発表いたしました。

同研究は日光ケミカルズ株式会社との共同研究にて実施、発表を行いました。

日光ケミカルズ株式会社

WEB：<https://www.nikkol.co.jp/>

創立：1946年6月7日

代表者：代表取締役 社長執行役員 中原秀之

事業概要：パーソナルケア・医薬品・化成品原料の研究・処方開発、情報の提供や販売、開放研究室によるお客様サポート

IFSCC 2025 Congress

IFSCC（International Federation of Societies of Cosmetic Chemists）とは日本化粧品技術者会（SCCJ）の上位組織であり、世界各国の化粧品開発の技術者が会員となっている組織です。同会が毎年開催する学術大会（Congress）は世界的に権威のある大会であり、厳正なる審査により厳選された発表が行われます。2025年のカンヌ大会においては798件の研究報告（口頭発表68件、ポスター発表730件）が行われました。

発表演題：

A Breakthrough in Liposomal Technology: Enhanced Stability and Skin Barrier Function of Liposomes Through the Utilization of Acidic phospholipids（リポソーム技術のブレイクスルー：酸性リン脂質を利用したリポソームの安定性と皮膚バリア機能の向上）

発表者：

長谷川香料 上田祐也、越知貴夫、酒井貴博

日光ケミカルズ株式会社 三園武士、行方昌人

感じるチカラで もっといいこと。

 **長谷川香料株式会社**

発表内容：

皮膚の奥まで有効成分を届ける技術として有名である「リポソーム」は、主に浸透性に着目した研究が進められてきましたが、肌の改善効果に関する研究成果の報告数は多くありませんでした。長谷川香料では、従来のフォスファチジルコリン（PC）に加えて、より皮膚への有効性が期待される「酸性リン脂質（AP）」を応用しながら、困難とされていた安定性に優れたリポソームを調製することを可能としました。

今回の IFSCC 2025 Congress カンヌ大会では皮膚のバリア機能強化に着目し、PC をメインに組成したリポソームに比べ、AP を 50% 程度使用したリポソームはタイトジャンクションの強化と、それを誘発するタンパク質である Claudin-1 の発現に有意な差があることを新たに発見し、報告いたしました。

今後のリポソーム研究

今回発表した酸性リン脂質を応用したリポソーム技術は長谷川香料の持つオリジナル原料 NANOLYS® に搭載されております。

長谷川香料は今後も「世の中すべての敏感肌に革新的なナノソリューションを」お届けすべく、リポソーム技術の深化・強化を図ってまいります。

NANOLYS® に関する詳細・お問合せはこちらまで。

<https://www.t-hasegawa.co.jp/nanolys>

【問合せ先】

長谷川香料株式会社経営企画部（担当：宮澤）

TEL：03-5205-7508

MAIL：thcprpr@t-hasegawa.co.jp